

日光 雲龍溪谷

C ランク K

【山行日】2022年2月12日(土) 天気 快晴

【交通・費用】マイカー2名 費用は実費負担(3000円/人)

【参加者】CL:K H

【ルート】日光東照宮裏・東照宮滝尾神社～林道ゲート～稲荷川右岸～洞門岩～とも知らず入口～雲龍瀑 (往路)2時間30分(復路)2時間 合計4時間30分+休憩1時間

- 交通アクセス：滝尾神社前で5-6台が立ち往生している。見に行くと緩斜面のスロープで空回りしている。スタッドレスだけでは無理のようで、何台も引き返してきた。スタッドレス4駆車かチェーン装備車でしかゲートまでいけないようだ。今野車も空き地でチェーン装備して最終地点まで到達した。数年ぶりのチェーン装備だ。
- 土曜日で天気も良かったので、結構の入山者があった。ほとんどがヘルメット着用であった。チェーンブロックは新雪では団子状態となり歩きにくかった。12本爪アイゼンを装着してからは快適に歩行できた。
- コース上の注意点、我々は稲荷川の堰堤に沿って渡渉して、右岸の石階段を上り詰めた。が、まっすぐ稲荷川を遡行して行った人は、洞門岩付近(あるいは「とも知らず入口」を登って来ざるを得ず、ピッケルを使用できた人は楽にクリアできたが、ストックだけの人は急斜面で死ぬような目にあつたと話を聞いた。
- トイレは駐車場林道に入るまでに高速SAで済ましておくに限る。例年ならば2月の3連休でシーズンは終わりを迎えるが、本年はもう1週間ぐらいブルーアイスを鑑賞できそうだ。



見事なブルーアイスの連続

雲龍溪谷の氷瀑は、写真で見たことはあるものの、自分の目で見るのは初めてでした。清流の音を聞きながら、新雪きらめく道を歩く至福のトレック。何度か渡渉をしながら進んでいくと…、目の前に現れてきました。雲龍溪谷の氷瀑は思っていた以上のスケールで、奥行きがありました。氷柱ひとつ一つにも個性があり、見る角度によって太陽の光線の関係で色合いも表情も変えています。大変に美しかったです。

体力・技量・アイテム（装備）を増強していくと、山行の幅が広がっていくのだなと、しみじみ思いました。山の標高が高くなるにつれ景色・眺望が変わっていき、積雪時であっても体力・技術・装備でカバーできると、想像もできない世界に踏み入れるんだと感じた一日、素晴らしい一日でした。また一つ、たのしみの世界を広げていただいたように思います。(H)



圧巻なスケール感をもつ自然の造形美